

田中復興大臣記者会見録

(令和2年7月17日(金) 16:55~17:03 於) 復興再生多目的施設
あおみな)

1. 発言要旨

本日、東松島市を訪問させていただきました。今回の訪問では、移転・再整備を行った海浜緑地、また、奥松島の観光拠点となる施設を視察させていただいたところでございます。

また、農産物栽培から販路開拓まで行っておられる、地元の企業との意見交換も行いました。I o T (モノのインターネット) 農業の取組によって、出荷量や食味の向上、障害者の方あるいは高齢者の方の持続的な雇用促進に取り組んでおられるというお話をお伺いして、大変感銘を受けたところでございます。

引き続き被災自治体とも連携させていただいて、現場主義を徹底するとともに、被災者の皆様に寄り添って、被災地の復興に全力で取り組んでまいりたいと思っておるところでございます。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 復興費1,000億円ということで、宮城県は決まったかと思いますが、大幅削減となっはいますが、今後どのように宮城県の復興に取り組んでいかれるか、よろしくお願ひします。

(答) もう既に皆さんお聞き及びと思ひますけれども、私ども復興庁も、ハード面を今までの10年間で、一生懸命地元の皆さんと協力させていただいて仕上げてきたところでございます。

今後、法律を改正して、5年取り組んでいくということになるわけでございますので、当然1.6兆円程度の県別の内訳でございますけれども、宮城県は0.1兆円程度ということになっておりまして、ハード面が概ね終了した関係にある中で、県等ともよく連携を取らせていただひいて、いろいろと決定させていただいておるところでございます。

いろいろと、これからもこういうコロナのように、予測もつかないことが起こってくる時代でございますので、私どももまさしく緊張感を持って、そして地元の皆さんにしっかりと寄り添いながら、心のケア始め、市町村ごとのやはりしっかりとした特徴を、良い意味でのしっかりとサポートができるような体制を整えてまいりたいと思っておるところでございます。

(問) 復興事業費、今後5年で1.6兆円ということと、新しい復興期間名なども決まりました。改めてその全体が、今後の枠組みが全体として決まったということの所感と、あと1.6兆円のうち、1.1

兆円は福島県の再生にあてられるわけですけれども、福島の再生はまだ、今、道半ばだという証左だと思うんですけれども、改めて今後の福島県の復興のことについて、意気込みを教えてください。

(答) ネーミングについては、各方面いろいろと広く御意見を承りまして、5年から10年の間を復興・創生期間ということにしておったんですが、1期と2期、道半ばであるので、第2期ということで、最終的にそのようにさせていただいたわけでございます。

もちろんこの宮城県、そして岩手県の復興、細かく言うと、茨城県もあれば千葉もあるわけでございますし、青森もあるわけでございますけれども、そのことと、やはり原子力発電所の事故によって起きた大災害、福島の状況というのは、相当な違いが現実にあるわけございまして、今後がいよいよ本格的な取組と、この思いを持って臨んでまいりたいと思っておるところでございます。

地元の皆さんからも、双葉の地域をいろいろとこうしてほしいという御要請も自治体ごとに来ております。私たちもしっかりと取組んでいきたいと思っております。

数値的なお問合せもあるわけでございますが、1.6のうち、福島には1.1というものを考えておるところでございますが、この点についても、今後少し弾力的なこともあるだろうと思って、そういう余裕も少し持たせていただいております。

いずれにしても、今の時点では、確かにある程度の形になっておるわけでございますが、現実的には、その都度その都度、地元の皆さんとよく相談をしながら、国の中でも十分議論をして、といっても地元第一主義で取り組んでいかなければいけない、この思いでございます。福島の原発事故は国に大きな責任があるという認識は、私も強く持っております、これからも真剣な取組をしてまいりたいと思っております。

(問) 今日、大臣に見ていただいた場所は、比較的復興が形になっている場所なんですけれども、通ってきていただいている所で、被災元地が手つかずになって、荒れ放題になっている場所も多いのは事実です。そうした中で、東松島市が観光果樹園としての再生を計画している場所もあるんですけれども、そういった計画について、大臣はどのように受け止めていらっしゃるでしょうか。

(答) 私も就任以来、以前にもお伺いをしておるわけでございますけれども、どうしても、やはり特にこの東松島は美しい名勝の地でもございまして、雑草が生えているという荒れ地を見ると、心が痛むところがございます。

市長さん始め、地元の皆さんからも、そういう面で、やはり今後

早くきちっとした対策を講じていかなければいけないということ
でございまして、我々もそういう意味では、令和の果樹の花里づ
くり事業ということで、いろいろと要請もお受けしております。
今日も、市長さんからの丁寧なお話も重ねてあったわけござい
ます。

今後モデル調査を踏まえて、具体的な進め方については、検討段
階から関係機関との調整が重要であるために、復興庁としても必
要な協力をさせていただきたい、このように思っておるところで
ございます。ぜひ一つ、おいしい梅が採れるという、また花も、
大変、梅は日本の伝統的な、美しい香る花でもございますし、そ
ういう思いも市長さんと共有できればと思っておるところござ
います。

どうもありがとうございました。

(以 上)